

## 令和4年度事業報告

### I 概況

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から経済が徐々に回復の方向に進み、社会経済活動が活発になってきましたが、長期にわたるコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻等に起因する価格高騰、歴史的な円安など日常生活を取り巻く環境が非常に大きく変わった一年でもありました。

一方、少子高齢化は急速に進行しており、生産年齢人口が減少するのに対し、高齢者人口は増加を続けていることから、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍することが求められているため、シルバー人材センター事業は、現在の我が国において欠くことのできないものとなっています。

このような中、秦野市シルバー人材センターは、第5次中・長期基本計画（以下「基本計画」という。）の初年度という重要な年を迎え、基本計画に基づく事業について取り組みを進めた一年でした。

基本計画では、その実効性を高めるため事業推進会議において令和4年度事業計画に位置付けた24の事業について進行管理を行うとともに、各事業の評価を行いました。評価項目は、「実施済」、「調整中」、「実施困難」、「未着手」で、そのうち、「実施済」との評価が22事業であったのに対し、「実施困難」、「未着手」についてはそれぞれ1事業でした。

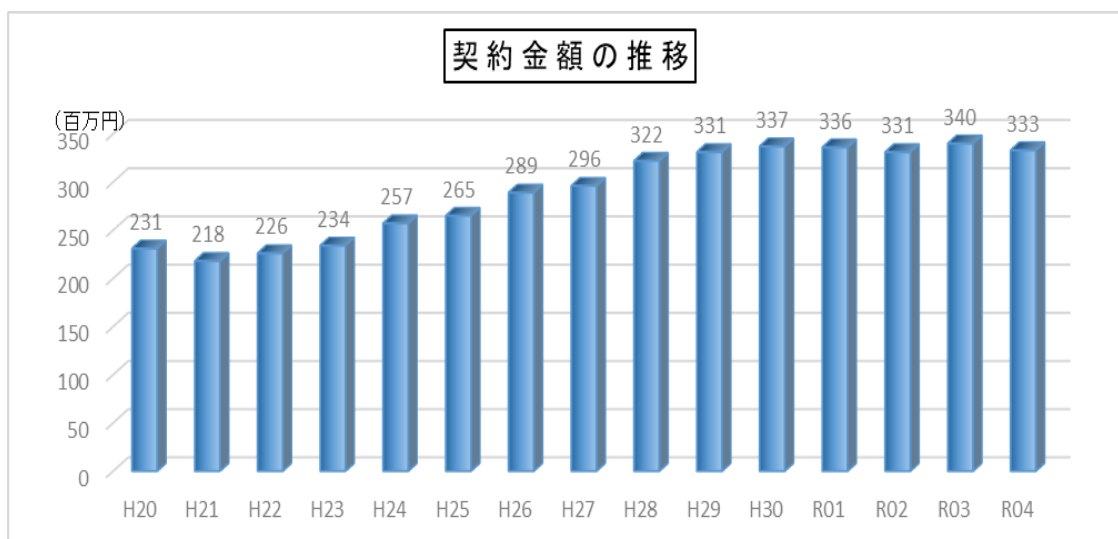
なお、「未着手」については、令和5年度に実施することとしました。

次に、令和4年度の請負・委任契約の実績は、契約金額 333,214,266 円で前年度に比べ 6,325,855 円・1.9%の減額となりました。

これは、草取り、草刈り等のグループ就業における会員の高齢化、並びに、新たな就業会員の確保が困難になってきたことに起因し、一般家庭等からの新規受注をお断りせざるを得ない状況になったことが主たる要因です。

令和4年度の一般家庭の契約金額及び受注件数をみると、40,598,153 円、1,965 件で前年度に比べ、契約金額で 4,399,823 円（△9.8%）、受注件数で 218 件（△1.0%）の減となっており、実績の上からもそのことが明らかとなっています。

しかし、令和4年度は、契約金額 333,214,266 円であり、令和3年度の 339,540,121 円、平成30年度の 336,927,689 円に次ぐ高い水準を確保することができました。



次に、配分金については、267,484,893 円で前年度に比べ、2,607,160 円・1.0%の減額となりましたが、契約金額に占める割合では80.28%で前年度に比べ、0.73ポイントの上昇となりました。

また、材料費等については、令和4年度からカルチャーパーク及びおおね公園に指定管理者制度が導入された影響等により、前年度に比べ、8,833,753 円(△18.8%)の減額となりました。

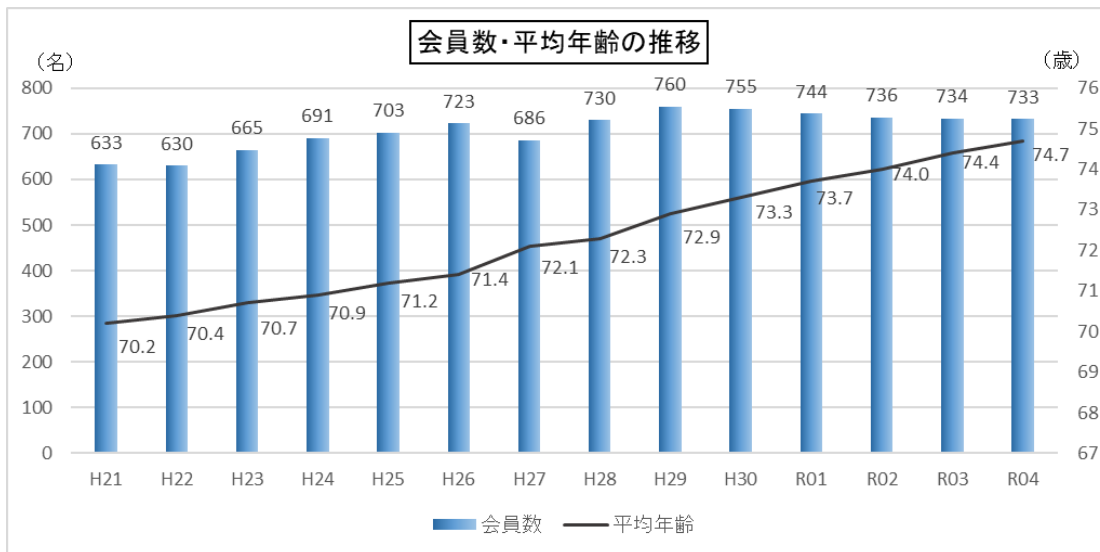
年度	H30	構成比	R01	構成比	R02	構成比	R03	構成比	R04	構成比
配分金	276,570,728	82.09%	272,021,657	81.00%	264,466,328	79.88%	270,092,053	79.55%	267,484,893	80.28%
材料費等	37,517,850	11.13%	41,600,435	12.39%	44,814,372	13.54%	47,064,948	13.86%	38,231,195	11.47%
事務費	22,839,111	6.78%	22,197,915	6.61%	21,796,587	6.58%	22,383,120	6.59%	27,498,178	8.25%
契約金額	336,927,689	100.0%	335,820,007	100.0%	331,077,287	100.0%	339,540,121	100.0%	333,214,266	100.0%
事務費率	8.26%		8.16%		8.24%		8.29%		10.28%	

次に、会員数については、入会者102名、退会者103名で年度末会員数は前年度より1名減の733名となり、対前年度との差は年々圧縮されています。

会員の平均年齢は、74.7歳で、前年度よりも0.3歳上昇し、最高年齢は男性91歳、女性85歳と前年度に比べ、それぞれ1歳更新しています。

このことは、公共施設における就業年齢をこれまでの78歳から80歳に引き上げるとともに、本人の就業意欲と健康状態に応じて80歳以降も就業を継続できるよう改めたことも影響があると推測されます。

また、「ゴールド会員」については、男性19名、女性7名の26名となり、前年度と比べて7名の増加となりました。



年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
平均年齢	70.4	70.2	70.4	70.7	70.9	71.2	71.4	72.1	72.3	72.9	73.3	73.7	74.0	74.4	74.7
会員数	564	633	630	665	691	703	723	686	730	760	755	744	736	734	733

## Ⅱ 事業実施状況

令和4年度事業計画に基づく各事業の実施状況や実績等については、以下のとおりです。

### 1 会員数の確保・拡大

社会情勢の変化やコロナ禍の影響により、会員数の減少が続く中、入会説明会や新規事業として会員優待事業を創設するとともに、女性会員確保に向けて女性限定イベントの実施に取り組みました。

#### (1) 総務部会による会員入会促進のための取り組みの推進

①公民館を活用した出張入会説明会を開催し、会員入会に努めました。

・開催回数3回（本町公民館、西公民館、南が丘公民館）・参加者29名

②一人一会員入会運動「友達の輪大作戦」に取り組み、ロコミ活動等を展開して会員による勧誘活動の推進を図りました。

③シルバー会員優待制度を創設し、協力店舗の登録に努めました。

・会員優待協力店舗：12店舗登録

#### (2) 会員の退会抑制

①就業しなくともシルバー人材センターを退会することなく、会員でいられるようゴールド会員承認条件の緩和を図りました。

#### (3) 女性会員の拡大

①女性が加入しやすい環境づくりのため女性役員の登用を推進しました。

・女性会員の役員登用：4名登用

②女性会員で組織する「ひまわりの会」では、女性会員相互の交流や親睦等を目的に女性限定イベントを実施しました。

・女性限定イベント：3回開催・参加者60名

## 2 就業機会の拡大・提供

民間事業者や行政機関へ一層の働きかけを行い、就業機会の確保・拡大に努めるとともに、グループ就業の充実を図るためグループ代表連絡会を設置し、グループ就業の課題解決に取り組みました。

### (1) 就業開拓部会による多様な就業先開拓に向けた取り組み

①既存の受注契約の継続及び新規受注の開拓のため、民間事業者や行政機関へ一層の働きかけを行いました。

②新たな就業機会の開拓を目指し、人材派遣による就業機会の確保・開拓に努めました。

・人材派遣契約金額: 令和4年度 23,163,733円 (前年度 18,582,695円)

③就業開拓サポーターによる民間事業所訪問を推進しました。

### (2) 女性会員の就業先の拡大

①就業における男女別職域の撤廃

### (3) グループ就業の充実

①グループ代表連絡会においてグループ就業の課題解決への取り組みとして、草取り及び草刈りの受注方法を年間受注方式へ変更しました。

## 3 安全就業の推進

安全就業の徹底を促すため会員への情報提供を行うとともに、会員が就業している職場への巡回パトロールを実施しました。また、会員の健康管理意識の高揚を図るため健康管理に関する講演会等を開催しました。

### (1) 安全・安心就業の徹底

①安全就業管理委員会では、職場巡回パトロールを実施するとともに、その結果をホームページや安全就業ニュースに掲載して周知を図りました。

・職場巡回パトロール：27か所（9月～12月実施）

②広報委員会では、事故再発防止や熱中症等に関する情報をホームページやSmile to Smileを活用してタイムリーな情報提供に努めました。

### (2) 健康管理の促進

①安全就業管理委員会では、日常生活における健康管理をテーマとした事

業の実施や会員へ健康診査等の受診勧奨に努めました。

・健康管理に関する講習会：2回開催・参加者65名

②作業前の簡単なストレッチなど準備体操の実施を推進しました。

#### 4 経営基盤の強化

適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応として事務費率の引き上げに取り組むとともに、同制度導入に伴う特例措置の適用等を求めるため秦野市議会へ陳情書を提出しました。

また、安定的な経営を図るため固定経費の削減に取り組むとともに、秦野市に対して補助金確保に関する要望書を提出しました。

##### (1) 事務費の改定

①現行の事務費率を令和5年度から2%引き上げ10%とするため、発注者へ事務費改定について説明等を行い、理解を得るよう努めました。

##### (2) 固定経費削減の取り組み

①事務局職員の期末手当及び事務所賃借料について削減をしました。

##### (3) 事業収益増収に向けた取り組み

①就業開拓部会では、新規事業として粗大ごみリサイクル販売事業実施に向けた検討に着手しました。

#### 5 組織・執行体制の見直し

班長制等地域班組織の在り方について検討するとともに、地域貢献・ボランティア活動や会員相互の親睦を深める事業を実施しました。

##### (1) 会員組織の活性化への取り組み

①地区担当理事連絡会では、班長制等地域班組織の在り方について検討し、班長制存続等の検討結果報告書を理事長に提出しました。

②普及啓発部会では、地域貢献・ボランティア活動に取り組みました。

・地域貢献・ボランティア活動：3回実施・参加者261名

③全ての会員で組織する「ふれあい倶楽部」では、会員相互の親睦、交流を深める事業を実施しました。

・会員親睦事業：4事業実施・参加者99名

##### (2) 事務局体制の見直し

①事務の合理化、効率化や事務局のスリム化を進めるため簡素で機能的、効率的な執行体制の構築に努めました。

・「事務局職員定員適正化計画」の策定

### Ⅲ 事業実績

#### 1 会員数

(R5. 3. 31 現在) 単位：人

	R4. 3. 31	入会者数	退会者数	増 減	R5. 3. 31	ゴールド会員
男性	505	69	61	8	513	(19)
女性	229	33	42	△ 9	220	(7)
合計	734	102	103	△ 1	733	(26)

#### 2 年齢別会員数

(R5. 3. 31 現在) 単位：人・( ) は前年度末

男女別 年齢階層	男性	女性	計	比率 %
60歳未満	(0) 0	(0) 0	(0) 0	—
60歳～64歳	(12) 12	(10) 10	(22) 22	3.0
65歳～69歳	(68) 63	(32) 31	(100) 94	12.8
70歳～74歳	(205) 192	(94) 88	(299) 280	38.2
75歳～79歳	(150) 172	(71) 67	(221) 239	32.6
80歳以上	(70) 74	(22) 24	(92) 98	13.4
合計	(505) 513	(229) 220	(734) 733	100.0

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
会員の平均年齢	74.0歳	74.4歳	74.7歳
最高年齢 男性	89歳	90歳	91歳
女性	83歳	84歳	85歳
最低年齢 男性	61歳	60歳	61歳
女性	60歳	61歳	61歳

#### 3 地区別会員数

(R5. 3. 31 現在) 単位：人・( ) は前年度末

地区別	男性	女性	計
本町地区	(60) 60	(41) 37	(101) 97
南地区	(100) 110	(46) 47	(146) 157
東地区	(59) 59	(19) 22	(78) 81
北地区	(45) 49	(25) 21	(70) 70
大根地区	(58) 60	(22) 18	(80) 78
鶴巻地区	(51) 51	(16) 18	(67) 69
西地区	(62) 62	(30) 29	(92) 91
渋沢地区	(70) 62	(30) 28	(100) 90
合計	(505) 513	(229) 220	(734) 733

## 4 年間就業率

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

	本年度		前年度	
	就業率	就業人員／会員数	就業率	就業人員／会員数
総合	80.4%	589人／733人	81.6%	599人／734人
男性	77.6%	398人／513人	80.4%	406人／505人
女性	86.8%	191人／220人	84.3%	193人／229人

## 5 受注区分別事業実績

(R4. 4. 1~R5. 3. 31) ( ) は前年度末

実績 受注区分	受注件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額	差額 (円)	比率 (%)
公共事業	55 ( 54)	23,814 (29,978)		△61,543,272 140,785,609	42.3 (59.6)
民間企業	253 (262)	21,280 (15,641)		60,418,371 ( 74,005,051) 134,423,422	40.3 (21.8)
一般家庭	1,965 (2,189)	7,379 (7,611)		△ 4,417,133 ( 45,015,286) 40,598,153	12.2 (13.3)
独自事業	821 (939)	3,863 (3,980)		△ 783,821 ( 18,190,903) 17,407,082	5.2 (5.3)
合計	3,094 (3,444)	56,336 (57,210)		△ 6,325,855 (339,540,121) 333,214,266	100.0

## 6 配分金・材料費等・事務費の状況 (R4. 4. 1~R5. 3. 31) ( ) は前年度末

区分	受注件数 (件)	契約金額 (円)			
		配分金	材料費等	事務費	計
公共	55 ( 54)	113,658,613 (156,460,082)	15,173,084 (33,115,977)	11,953,912 (12,752,822)	140,785,609 (202,328,881)
民間	253 (262)	111,199,250 ( 66,478,534)	11,592,695 ( 2,129,470)	11,631,477 ( 5,397,047)	134,423,422 ( 74,005,051)
一般家庭	1,965 (2,189)	33,458,639 ( 37,852,547)	4,060,613 ( 3,780,864)	3,078,901 ( 3,381,875)	40,598,153 ( 45,015,286)
独自事業	821 (939)	9,168,391 ( 9,300,890)	7,404,803 ( 8,038,637)	833,888 ( 851,376)	17,407,082 ( 18,190,903)
合計	3,094 (3,444)	267,484,893 (270,092,053)	38,231,195 (47,064,948)	27,498,178 (22,383,120)	333,214,266 (339,540,121)

7 職群別事業実績 (R4.4.1~R5.3.31) ( ) は前年度末

実績 職群別	受注件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)	比率 (%)
技術群	( 20) 16	( 90) 65	( 800,276) 1,039,220	0.3 (0.2)
技能群	(1,160) 1,021	( 3,251) 3,188	( 32,535,193) 30,336,082	9.1 (9.6)
事務整理 群	( 9) 7	( 368) 280	( 1,197,252) 604,006	0.2 (0.3)
管理監視 群	( 21) 23	(15,061) 14,875	(116,694,037) 112,909,723	33.9 (34.4)
一般作業 群	(2,120) 1,903	(32,999) 32,366	(173,358,980) 172,707,951	51.8 (51.1)
サービス 群	( 114) 124	( 5,441) 5,562	( 14,954,383) 15,617,284	4.7 (4.4)
折衝外交 群	( 0) 0	( 0) 0	( 0) 0	0.0
その他	( 0) 0	( 0) 0	( 0) 0	0.0
合 計	(3,444) 3,094	(57,210) 56,336	(339,540,121) 333,214,266	100.0

※一般作業群とは、従来の軽作業群。職群の名称は、全シ協の例による。

8 過去5年間における契約金額の推移 単位：円・( ) は構成比

年度	公共	民間	一般	独自	合計	対前年
H30	191,184,905 (56.7%)	81,936,252 (24.3%)	46,017,724 (13.7%)	17,788,808 (5.3%)	336,927,689 (100.0%)	1.8 %
R 1	196,152,235 (58.4%)	73,657,988 (21.9%)	47,540,896 (14.2%)	18,468,888 (5.5%)	335,820,007 (100.0%)	△ 0.3 %
R 2	202,622,580 (61.2%)	69,811,798 (21.1%)	42,672,165 (12.9%)	15,970,744 (4.8%)	331,077,287 (100.0%)	△ 1.4 %
R 3	202,328,881 (59.6%)	74,005,051 (21.8%)	45,015,286 (13.3%)	18,190,903 (5.3%)	339,540,121 (100.0%)	2.6 %
R 4	140,785,609 (42.3%)	134,423,422 (40.3%)	40,598,153 (12.2%)	17,407,082 (5.2%)	333,214,266 (100.0%)	△ 1.9 %

※契約金額には、配分金、材料費等、事務費を含む。

#### IV 事故報告

傷害事故及び賠償事故の件数

年 度	傷害事故	賠償事故	合 計
令和1年度	6件	8件	14件
令和2年度	9件	7件	16件
令和3年度	12件	7件	19件
令和4年度	5件	2件	7件

#### V 会議等の開催 (R4.4.1~R5.3.31)

##### 1 総会関係

第54回定時総会

日 時 令和4年6月3日開催

内 容 令和3年度収支決算・役員を選任について

出 席 会員・役員568名出席（うち委任状521名）

##### 2 理事会関係

###### (1) 第1回理事会

日 時 令和4年5月13日開催

内 容 正会員の入会承認結果報告・令和3年度補正予算（第3号）・令和3年度事業報告・令和3年度収支決算・役員を選任・定時総会の開催・秦野市議会へ陳情書を提出することについて

###### (2) 第2回理事会

日 時 令和4年6月3日開催

内 容 理事長、副理事長及び常務理事を選任することについて

###### (3) 第3回理事会

日 時 令和4年6月24日開催

内 容 正会員の入会承認結果報告・施設管理就業交代要領の一部改正・民間継続契約等就業交代要領の一部改正・就業交代要領の実施に関する基準の一部改正について

###### (4) 第4回理事会

日 時 令和4年8月22日開催

内 容 正会員の入会承認結果報告・令和4年度補正予算（第1号）・ゴールド会員制度設置規程の一部改正・事業推進会議設置規程の一部改正について

###### (5) 第5回理事会

日 時 令和4年10月18日開催

内 容 正会員の入会承認結果報告・令和4年度補正予算（第2号）・適格請求書等保存方式（インボイス制度）施行に伴う対応策について

###### (6) 第6回理事会

日 時 令和4年11月18日開催

内 容 正会員の入会承認結果報告・令和4年度事業計画取り組みシート・令和4年度シルバー人材センター事業に関する要望書について

(7) 第7回理事会

日 時 令和4年12月23日開催

内 容 正会員の入会承認結果報告・令和5年度収入支出予算編成方針・人事評価規程の制定について

(8) 第8回理事会

日 時 令和5年2月17日開催

内 容 正会員の入会承認結果報告・事務局職員定員適正化計画（案）・事務局組織に関する規程の制定・事務局職員の給与に関する規程の一部改正・文書管理規程の一部改正・D&O保険（公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会を保険契約者とする団体保険）加入について

(9) 第9回理事会

日 時 令和5年3月29日開催

内 容 正会員の入会承認結果報告・令和5年度事業計画（案）・令和5年度収支予算（案）・令和5年度資金調達及び設備投資の見込み・配分金見積り基準の改正について

### 3 監査関係

令和3年度事業報告及び収支決算監査については、令和4年5月11日に監事2名により行いました。

### 4 事業推進会議

原則、毎月第1木曜日に開催。部会長、委員長等が出席し、経営上の諸問題等について協議を行いました。

### 5 代表会議

毎週火曜日に開催。理事長、副理事長、事務局長等が出席し、法人経営における課題等について協議を行いました。

①理事会及び事業推進会議の議案等について協議

②事務局職員の人事

③懸案事項についての協議

④事業進捗状況の確認

⑤傷害・賠償事故等就業中の事故への対応

⑥苦情・トラブル・諸問題への対応

⑦書類決裁